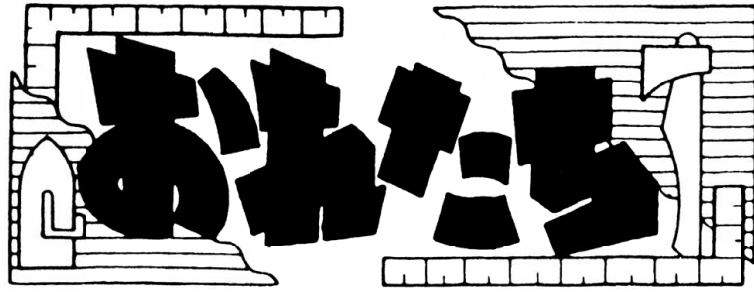


無料法律相談日の案内

1月19日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

1月当初組合員数 = 2,004人(+3人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・川又好一 / 編集長・堀井龍二
<http://www.doken-arakawa.org/>

日本の未来を

担う子供達へ

受け継がれる恒久の平和



【教育宣伝部発】昨年は北朝鮮問題を発端に、憲法9条の改正が取り沙汰されました。憲法9条は戦争を2度と起こさないことを世界へと発信し、過去の過ちを反省し、戒めるものでもありました。

これまで政府は、現在の憲法でも自衛隊の存在は合憲としており、憲法を変えする必要はありません。この他に改憲の理由として政府が挙げた問題は改憲により解決できるのででしょうか。むしろ、周辺諸国を刺激し、日本国民を危険にさらす

だけでなく、さらには、自衛隊が戦闘行為に参加することで、日本がテロの標的にされるリスクも増えます。

税金、年金保険料や軍事費は年々引き上げられる反面、年金の受給額は引き下げられ将来の不安をあり、景気回復の妨げにもなります。

誰もが安心して暮らせる社会づくりが今求められています。皆さんは、生まれてくる子ども達にどんな日本を引き継ぎますか。



【荒川・並木義男記者】今世界中で紛争やテロが起きています。日本は戦後70年何もしないで平和な日々を送れたのでしょうか。私は、今日の日本の平和は、戦中の反省の下で勝ち取ったものだと思います。
日本では年間約百万人の赤ちゃんが誕生します。子や孫に平和な日本を引き継いで渡すのは、私たち大人の責任ではないでしょうか。「この子が成人して親になった時に、『平和な日本に生まれて良かった』と言われる国であって欲しい」とこの子のお母さんは語りました。

【西尾久・小野澤富彦記者】日本が今、平和なのは憲法9条を守っているからです。

私は、昭和20年3月10日の東京大空襲の恐ろしさを今でも思い出します。当時、私はまだ10才でした。

私達の子孫のためにも、憲法9条を守り、戦争に参加しない平和な日本を残さなければなりません。また今年1年が平和でありますように。



【日暮里一・堀井龍二彦記者】私は孫の写真を撮りに行った時、孫の顔を見ながら、「おじいちゃんとしての責任は何なのか」と考えました。

私の脳裏に「原爆と人間展」で見た一枚の写真が焼き付いています。お母さんに背負われて、戦災で丸焦けになっている親子のものです。

戦争は大切なものを奪っていきます。戦争を許してはなりません。この子に平和な世の中を残したい。それが私の孫への思いです。

謹賀新年

あけましておめでとございます。組合員の皆様におかれましては、平成30年の新春をご家族一同様でお迎えの事と思っております。

昨年、憲法が施行70周年を迎えましたが、安倍晋三首相が憲法改正を實現し、2020年の施行を目指す考えを表明しています。首相の思惑通りに進めば、国民投票が3年以内に実施されて、改憲に「賛成」か、「反対」かを一人ひとりが問われることとなります。私たちも、子ども孫も自由に暮らせる、近代民主主義国家を維持できなくなる事となるのかも知れません。組合員も家族も憲法をもつ一度字び、「もつと輪を広げ、国民レベルで議論しなければ」と危機感を強く感じています。

2020年に開催される、第32回東京オリンピック・パラリンピックに向けて、建設業界は仕事が増え忙しくなると伝えられていましたがそれも一部の業者に限られ、昨年後半には仕事が少なく、とても心配していると話す組合員が多かったと感じました。

だが、大手建設会社は売上も利益も過去最高と報道されていますが、現場で働く職人さんの賃金は上がっていない。その利益を働く建設職人に回すように、組合運動で国民に訴えながら勝ち取れるように運動を展開しましょう。その為には、拡大と組織強化が私たちの要求実現への近道です。健康に注意しながら、組織強化の運動の奮闘を今年もよろしくお願い致します。



委員長 川又 好一

第1回 東京土建麻雀大会

IN 麻雀ZOO新宿西口大ガード店

—全都から80人の腕利きが集まる—



緊張感と熱気に包まれる会場

【日暮里1・堀井一通信】12月17日に第1回東京土建麻雀大会が、ZOO新宿西口大ガード店にて開催されました。開会にあたり、西田厚生文化部長より挨拶があり、来賓に日本プロ麻雀協会よ



表情も読ませない方も、お気軽にご参加下さい。今回も2人いましたが、女性の参加も大歓迎です！

り根本佳織プロをお迎えし、ゲスト参加で日本将棋連盟常務理事の島朗九段がご参加下さいました。今回、荒川支部からは増山國吉さん（西尾久）、堀井一（日暮里1）が参加しました。対局が始まると、東京土建各支部のプライドを懸けた闘いに、開会前の和やかなムードからは一変し、冬の寒さを吹き飛ばすほどの熱気が会場を包み込みました。

増山さんには第2回も開催が予定されています。増山さんには、次回こそ優勝を目指して頂きますが、本来の目的は交流戦で、楽しむイベントです。腕に自信のある方も、ない方もお気軽にご参加下さい。今回も2人いましたが、女性の参加も大歓迎です！



サンタが支部にやってきた♪



心温まる笑顔です

ザ・レディーズ荒川 Xmasパーティー

【南千住・笠井いずみ通信】12月16日支部会館にて、39人の参加でXmasパーティーを開催し、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

最初に来年の干支にちなんで、フェイスタオルを使って犬の置物を作りました。タオルを折って輪ゴムで止めて形を整え、目や耳など飾り付ける簡単な作業でした。皆さん、個性ある犬を作られていました。

次に揚げ物や焼きそばを頂き、用意されたシャンメリーを聞ける音がボンボン鳴り、パーティー感が出てきました。スポンジケーキに生クリームや果物を飾り付ける子供たちの楽しそうな笑顔が素敵でした。

最後は待ちに待ったビンゴ大会です。「次の番号は何だろう？」カードに釘付けでした。番号が発表される度に、「やったー」「なーいー」と言葉が飛び交い、当選順に景品を選び盛り上がりしました。

初めてのXmasパーティーでしたが、楽しく開催することができました。次回はより皆さんに喜んで頂ける企画にしたいと思えます。

ザ・レディーズ荒川ではバスツアーや区民まつり等の活動を行っています。皆さまのご参加をお待ちしています。

首都圏建設アスベスト訴訟

【荒川・磯部正三通信】12月5日に首都圏建設アスベスト訴訟の早期解決を求める院内集會が行われました。

また、公営住宅に住んでいた約23万人が、建材に含まれていたアスベストにばく露した可能性があるという調査結果も発表されています。当然、公営住宅以外でもアスベスト含有建材は使用されており、いつ、誰が石綿関連疾患を発症してもおかしくありません。我々は、被害者全員が裁判へ訴えなくても、救済される制度の創設を求めています。

早期解決を求める院内集會

10月24日の横浜地裁、10月27日の東京高裁にて原告団は勝利判決を勝ち取り、国が7度目の断罪を受けました。

最高裁での勝利を確実なものにするため、全国で行われているアスベスト訴訟の支援も重要な取組みとなります。12月に配布された京都・大阪地裁の署名にも是非ご協力下さい。



新年に入り、誰でも頭をよぎる問題は所得の申告でしょう。国に昨年度の所得の報告をするのは国民の義務です。

《国会議員の歳費》
月額 137万5千円
年2回の期末手当 718万円
合計 2368万円
(所得税対象)

《文書通信交通滞在費》
月額100万円(非課税)
《立法事務費》

その他、政党助成金は共産党議員を除く議員数で、頭割りすると年額約468万円以上です。議員が議会へ出席しても長期欠席でも費用は費えます。

あなたはどう思いますか？(H)

※上限3人まで
総合計6348万円
(以上は平議員の費用で、大臣等の役職に就くと役職手当がつく)

※いずれも領収書不要
《秘書雇用手当》
2000万円

によって構成されています。

国会議員の任務である議員活動に対する報酬(歳費)、その他の手当(歳費)などを含めて、議員一人にどのくらいの税金が使われているのか調べてみました。

命があるうちの解決の声は切実な願い

平成20年5月16日の提訴以来、308人いた原告のうち、233人もの原告が亡くなっています。

憲法改悪・9条壊すな総がかり行動

2500人が議員会館前へ

【南千住・竹達浩記者】
12月19日の夜に、総がかり行動実行委員会と、安倍9条改悪NO！実行委員会

は、国会周辺の行動として、今年最後となる行動を、衆議院第2議員会館前で行了いました。



もり・かけ疑惑はのびのびに、真実をしることなく年越し

集会は6時30分から司会者の先導の「9条壊すな」「沖繩壊すな」「戦争させろの総理はいらない」「すぐやめろ！すぐやめろ！」と、参加者2500人の力強いシュプレヒコールではじまりました。

集会は各野党の国会議員や民主市民団体の代表の挨拶、並びに訴えて「憲法改悪、9条破壊の国会発議を許さない」と訴えました。

社民党副党首の福島瑞穂議員は、アベノミクスではじまった安倍政権は、国民の経済格差を広げただけでなく、今回の総選挙も教育の無償化を公約にしたが今すぐにはできないのはなぜか？「口ばかり」と訴えました。

沖縄の風の伊波洋一参院

議員は沖縄に基地があるために負わされる苦難を訴え、再び過去の惨禍を繰り返さないためにも、今の時を皆さんと共に頑張りますと訴えました。

主催者で総がかり行動実行委員共同代表の高田健さんは、安倍政権は日本の軍国化のため改憲を狙っているが、7割の国民が世論調査で反対をしている「これが民意です、改憲に対する対案は現憲法です」確信をもって改憲の国会発議を阻む運動を来年も広げましようというアピールしました。

日本共産党書記局長の小池晃議員は、「安倍政権の民主主義破壊の改憲策動に反対運動を展開する、総がかり行動実行委員会をはじめとする民主団体に謝意を表し、これからの政治を動かす力は、市民と野党の共同で証明されている、そのために野党は何を為すべきかが問われている」と強調しました。

荒友会カラオケ大会

【荒川・磯部正三通信員】12月10日午後6時から支部会館にて、荒友会のカラオケ大会が行われました。



気持ち良く歌えばOKです！

川又委員長も参加されご挨拶頂き、濱田会長の乾杯で宴が始まりました。カラオケに合わせ、参加した19人が順番に、自慢の歌声を披露しました。

最後は恒例の記念撮影と、団結カンパローで閉会となりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、ストレス解消できました。早くに集まり準備を下さった役員の方々に感謝します。

憲法カフェ



【日暮里一・川又好一記者】核兵器禁止条約や、ICANのノーベル平和賞受賞など、世界が9条への確信を深めているのに、現政権は権力を私物化し、近代

民主主義国家としてのレベルが下がり続けています。そんな折、12月23日に支部3階会議室で、午後1時より「憲法って誰が守るの？憲法9条に自衛隊を書き加えたらどうなるの？カフェ」なるものが開催されます。



第1回憲法カフェの様子

と、第1回目の憲法カフェが開催されました。講師は、北千住法律事務所の石井一禎弁護士と大久保陽加（はるか）弁護士が務めて下さいました。憲法とは何だろうか。法律とはどこが違うの

iDeCo学習会のご案内

後継者対策部では下記の日程で、iDeCo（確定拠出年金）の学習会を行います。簡単にいうと、国民年金や厚生年金とは別に、将来に受け取る年金の上乗せ制度で、国民年金加入者ならば最大で816,000円の所得控除が受けられることも。詳細は学習会で！

日時：2月5日（月）19時～
場所：荒川支部会館3F

荒川区9条の会連絡会 毎月定例街頭宣伝行動

【西尾久・小野澤富彦記者】荒川区9条の会連絡会では、毎月9日前後に町屋駅頭にて宣伝行動を行っています。今、憲法9条を守るために、

12月8日に、磯部副委員長が、街ゆく人々へ憲法9条の意義、そして戦争に参加する国にしない訴えました。先を急ぐ人々に、チラシを受け取ってもらうのは大変ですが、これからも根気よく運動を続けて、憲法9条の大切さを訴えます。



寒さに負けず訴えます！

から始まり、石井弁護士の進行が、テーマごとに質問や疑問点を聞いてくれるので、組合員から疑問に思う事や質問がたくさん出ました。憲法とは人間一人ひとりの、自由と権利を保障しますと前置きし、ここで大事なのは憲法の3大原則「基本的人権の尊重」、「国民主義」、「平和主義」が示されていると訴え、参加者が

「憲法があるから自由の色々なことが出来るのだ」と反響があった。第1回憲法カフェは、読んで字のごとく、「コーヒーや紅茶を飲みながら、差し入れのみかんなども配られ、和やかな雰囲気で大切な学習ができた憲法カフェでした。参加者は19名で予定時間の3時を過ぎましたが、または是非開催してほしいと声が上がりました。

地域公演案内

お申し込みは
ACC（公財）荒川区芸術文化振興財団
ホームページへ



2017 ARAKAWAクラシックBOX

日時：平成30年2月17日（土）午後3時開演

会場：日暮里サニーホール コンサートサロン

料金：【全席自由】一般 2,000円

出演者：トリオ・アコード

津田裕也（Piano）白井圭（Violin）門脇大樹（Violoncello）

企画・ナビゲーター河野文昭

開場は開演の30分前

問い合わせ：ACC（公財）荒川区芸術文化振興財団 03-3802-7111

組合員と同居の親族まで地域公演を観劇された方に補助金が出ます。2,000円～4,999円の観劇は500円、5,000円以上の観劇は1,000円の補助金があります。観劇補助の申請は観劇日より1カ月以内にチケットの半券を持参し組合事務所へお越しください。



ひとくち映画情報

『嘘を愛する女』

中江 和仁 監督



2018「嘘を愛する女」製作委員会

東京の大手食品メーカーに勤務する川原由加利

(長澤まさみ)は、恋人の研究医・小出桔平(高橋一生)と同棲して5年。結婚を考える彼女は母親に桔平を紹介しようとする日、会食をセッティングします。ところが彼は深夜になっても帰宅しません。焦る由加利のもとに警察から連絡が入ります。桔平が近くの公園で倒れているのが発見され、病院に搬送されたというのです。病院に駆け付けた由加利は警察から衝撃の事実を知らされます。彼が所持していた運転免許証は偽造されたもので、勤務先だったはずの病院には勤務実態がありませんでした。由加利は意を決して探偵事務所を訪ねます。私立探偵・海原(吉田鋼太郎)が調査を始めると、桔平は喫茶店で小説を書いていた事実が浮かび上がりました。1月20日公開です。



藤村さんご夫妻です

藤村加工所

丁寧で作られたかばんは 厳しい検査へ

今回は、バーバリーやパレンチノなどの一流ブランドのかばん製造を手がける凄腕職人のご夫婦にお話を伺いました。現在は、世代を問わず人気の某大手かばんメーカーの製品を中心に製造しており、製造工程やこだわりを聞いて、職人さんがこんなに一生懸命に創っているか

ばんならば、大切な人への贈り物と、自分にも欲しいと思いました。藤村加工所(荒川区東日暮里3-19-22)の店主である藤村宗典さんと、奥様の玉美さんの仕事場を訪ねました。「写真 堀井龍二記者(日暮里1・川又好一記者(日暮里1))

玄関を開けると、大きな段ボールがたくさん積み重ねられており、ミシンの動く音はすれど、中が見えません。「そのまま入って来て」との声に向かって進むと、そこにはミシンが所狭しと何台も置かれ、工場に一歩踏み入れたと感じました。奥様から「しばらく待って」との声に、忙しい折に訪れてしまったことに気付



きました。

一流ブランドが 信頼する技術

ミシンに向かって一筋に針を目で追い、その先のミシン台の上では、かばんが踊っていました。素早く動く手さばきに匠の技を感じました。工場で一流のかばんが作られていく様子を目の当たりにし、その仕上がりの美しさに感動を覚え、驚くほど軽かった。そして、ご夫婦の自信に満ち、輝いた目が印象的でした。



夫婦で協力して作業します

藤村さんは28才で大手かばんメーカーに就職し、企画、営業、職人さん廻りを担当し、その時に今の奥様である玉美さんとの出会いがあったそうです。43才で会社を辞めて、職人として独立すると、玉美さんとも結婚し、藤村加工所が誕生しました。

ものづくりへ 懸ける熱い思い

消費者から信頼される大手メーカーの仕事で心掛けていることを伺うと、宗典さんは「常に創意工夫し、味のあるかばんを作る気持ちを持つことが大切」と物静かに語り、玉美さんは「新しく工夫すれば進歩する。それで縫っていけば技術は上達するからね」と元気に語りました。ご夫婦の職人魂は「一つ一つを丁寧に縫うことへ



縫い目が少しでもずれたら納品できません。縫うことへ

仲間の横顔



堀井 一さん(日暮里1分会)

今回は、日暮里1分会で堀井工業(株)の代表を務める堀井一さん(塗装)にお話を伺いました。「私は父が左官の仕事をしていて影響を受けて現在の仕事に就きました。



作業現場での1枚

た。父は戦争から帰ってきて、三ノ輪で住み込み修行を積み、独立しました。そして、日暮里公園前に会社を建てました。当時は吹付けをメインに仕事を請けていましたが、時代の流れで、都営住宅の仕事が減ってきたことや、塗料が飛散してクレームになる案件も増えたため、現在ではあまり請けなくなりました。趣味はもっぱら読書です。中でも司馬遼太郎さんの『燃えよ剣』や、内田やすおさんの推理小説で『浅見光彦シリーズ』が好きで愛読しています。東京土建に加入してかれこれ30年になりますが、加入して良かったことは、いつも光り輝いている川又委員長と出会えたことです」と語りました。

堀井一さんは分会の厚生文化部長を務めており、これからも活躍が期待される人材です。【取材(日暮里1・堀井龍二記者)】

の強い執着」だそうです。仕事の中には、注文の後から「明日までに仕上げ」と言われることもあり、かばんと格闘しているようだ、腕の青あざや、ミシンで縫ってしまったいくつもの傷跡を見せられました。

最後にかばん職人としての将来を伺うと、「メイド・イン・ジャパンのものをくりを徹底する」と語りました。大手メーカーの厳しい検査に認められる高品質なかばんを作るお二人の熱い思いがそこにありました。